



南島原市国際交流員

フランチのチャオ! 南島原「宴会」



日本では、歓迎会、送別会、歓送迎会、忘年会、新年会などさまざまな理由で年に何回か宴会を行います。

イタリアには同じような文化がありません。日本の宴会ではお酒を飲むとき、部下が上司にお酒を注いだ後、上司が飲んで部下に自分のお猪口を渡してお酒を飲ませます。宴会の参加者の皆が同じようにお酒を飲んで相手に飲ませます。この習慣はイタリアにありません。家族や恋人や友人同士なら同じコップから飲むことがあるかもしれませんが、職場の同僚の間で同じコップを使って飲むことはしません。

実は、私はこのように日本の酒を同じ器で飲む習慣に違和感があります。特に、インフルエンザや風邪が流行っている時期、皆さんマスクをしていることが多いのに、宴会中にマスクを外して気軽に同じコップから飲みます。風邪予防対策にうるさい日本人でもこの場合、酒の文化の方が重要なのですが私は不思議に思います。

イタリアでは家族や友人と一緒に食事会・飲み会を開催することがありますが、職場の人と宴会する機会が少ないと思います。しかも日本では部・課全員が宴会に参加しますが、イタリアの職場の食事会の場合は



ホームパーティの様子

仲が良い同僚、または同じチームメンバー内でしか行われません。イタリアではプライベートと仕事の時間がきっちり分けられていて勤務時間が日本より短くて、仕事が終わった後に職場の人と付き合うことはほとんどないのです。

日本では人間関係を築くために宴会を行うことが一般的です。確かに、日本人には人見知りが多いので、お酒を飲んだらお互いに話しくなるでしょうし、親近感を覚えることになるでしょう。それに対してほとんどのイタリア人は明るく社交的ですから職場内で食事会を開催しなくてもお互い自然と仲良くなります。



フランチの「ヴォーノ!!イタリア料理講座」

企画振興課 ☎050(3381)5030 FAX0957(82)3086

Eメール: chiikiseisaku@city.minamishimabara.lg.jp

イタリアからの国際交流員フランチェスカのイタリア料理講座を開催します。
簡単なイタリア語・イタリア文化を勉強しながら楽しく料理を作ってみませんか?
お子様連れでも大丈夫です。

※「ヴォーノ」とは、イタリア語で「おいしい」という意味。

メニュー：野菜のミネストローネ・地中海風魚料理とサラダ



📅平成28年1月7日(木) 午後7時～9時30分

📍西有家学習センターカムス

定20人(先着順)

料600円(参加人数で変動)

📅12月25日(金) 午後5時まで

☎電話、FAX、Eメールで申し込んでください。

受講生募集



つなごう未来へ! 島原半島世界ジオパーク



島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジオくん」

ジオパークであり 続けるための取り組み

図 島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540



島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジーナちゃん」

世界ジオパークが
ユネスコ正式事業化決定!

11月にフランスで行われたユネスコ総会で、これまで支援事業に位置付けられていた世界ジオパークネットワークの活動がユネスコの正式な事業となりました。

ジオサイト② 九州オルレ(南島原コース)の見どころ紹介

「オルレ」は、韓国・済州島の方言で「通りから家に通じる狭い路地」という意味です。

「九州オルレ」とは、済州島を発祥とし、九州内に広がった自然を楽しむウォーキングコースです。島原半島の最南端・早崎半島にある九州オルレ(南島原コース)のテーマは、「潮騒をききながら、南蛮貿易で栄えた港町を歩く」です。このコース沿いにはジオパークの観点からたくさん見どころがあります。



「幻の野向の一本松」付近から見える景色



瀬詰崎灯台



島原半島のはじまり



アコウ群落



オルレコース沿いには、赤と青のリボンや標識などが設置され、誰もが気軽に歩くことができるようになっています。素晴らしい景色が満喫できる九州オルレ(南島原コース)を、ぜひ満喫してください。

①口之津港(スタート)

天然の入江を活用した港。開港450年という長い歴史を持ち、南蛮貿易や三池からの石炭の積み出し港として栄えました。現在は天草ジオパークへの玄関口にもなっています。

②野田堤・烽火山

早崎半島の最高峰で、標高は84m。山は、マグマのしぶきが噴きあがってつくられた黒い軽石(スコリア)が積み重なったものです。

③幻の野向の一本松

もともと大きな松の木があったことが名前の由来。150万年間にわたって島原半島をつくり上げた火山群が一望できます。

④瀬詰崎灯台

早崎瀬戸の豪快な海の流れを見ることができます。大潮のときには渦潮が見えることも。

⑤島原半島のはじまり

島原半島が生まれたのは今からおよそ430万年前。それがどんな噴火で始まったのかを伝える地層群が観察できます。

⑥アコウ群落

成長が早く、石垣をがっちり固定することから、防風林や防潮林として活用されてきたアコウの樹。樹齢300年を超える大きなアコウの群落は、南島原市の天然記念物です。

⑦口之津灯台

溶岩流がつくる高台の上に建ち、口之津港に出入りする船の安全を見守っています。灯台の周りに広がる、赤土を利用したジャガ畑も必見。

⑧口之津歴史民俗資料館(ゴール)

南蛮貿易や石炭の積み出し港として栄えた口之津の歴史を紹介する資料館。建物はかつての税関で、長崎県の文化財に指定されています。